



旭まちづくり通信

Vol.101 2022.11
旭地区まちづくり推進協議会
鳥栖市儀徳町3155-2
TEL : 82-2603
FAX : 55-8513

令和4年10月11日発行



旭クリーンアップ作戦



A安良コース B沼川コース

(と き) 令和4年 11月26日 (土) **雨天中止**

(受付) 8:50~

(出発式) 9:15~ (出発) 9:20~

(ところ) 旭まちづくり推進センター



野菜の朝市

参加費：無料 ※参加賞あります

歳末たすけあい

水筒・軍手・レジ袋の持参をお願いします!

(と き) 令和4年 11月26日 (土) ♡会食会は行いませんが、お待ちしております♡

(じかん) クリーンアップ帰着後10:30頃~ **雨天中止**

【注意】新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、開催の中止・延期・内容変更になる場合があります。旭まちづくり推進センター☎82-2603へお問い合わせ下さい。

社会福祉協議会

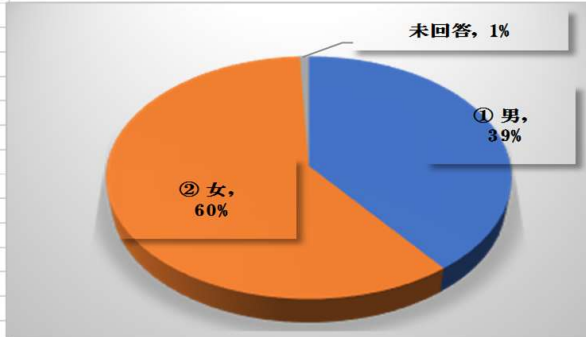
☆緑生館から5名の研修生が来ました☆



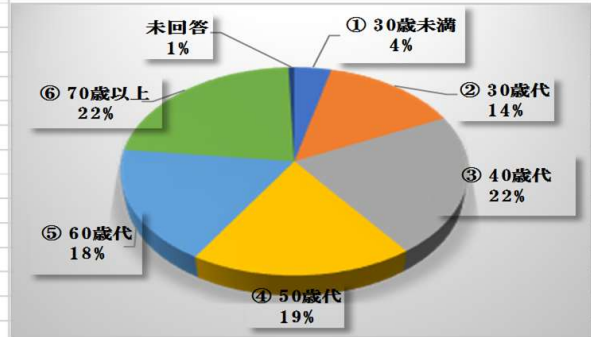
9月14日、15日、16日の3日間に緑生館から5名の研修生がセンターに来ました。

ふまねっと、旭パワーアップさんの利用者さんと手作りのレクレーションゲームをして、楽しい時間を過ごされました。若い5人のパワーに、皆さんもエネルギーと元気をいただき、明るい笑顔で帰られました。緑生館のみなさん、今回の研修で得た経験を今後の社会生活にいかしてください。

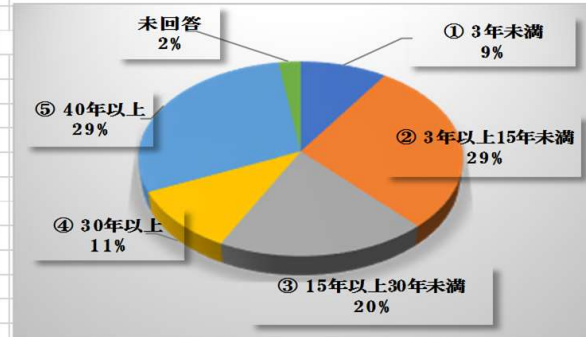
① 性別



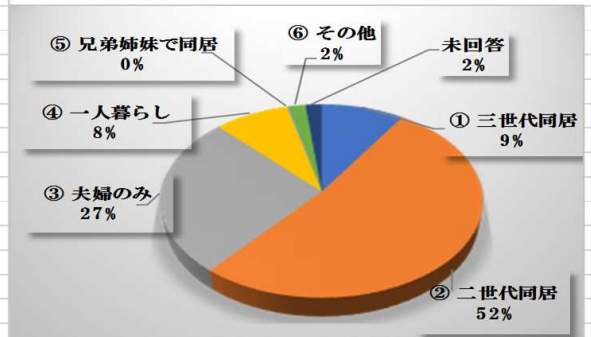
② 年齢層



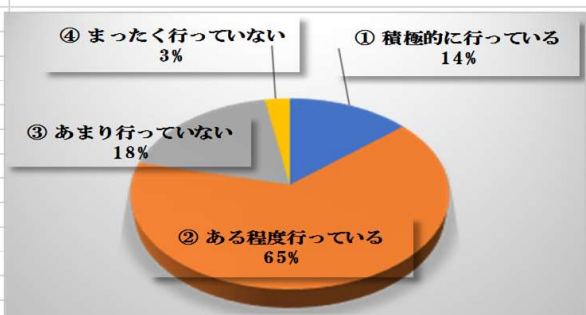
③ 旭地区に住んでいる年数



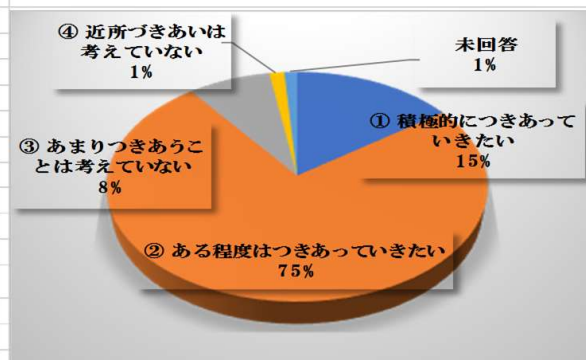
④ 家族構成



⑤ 近所付き合いの程度



⑥ 今後の近所づきあいに関する考え方



① 女性の回答者が60%で男性が39%と前回より男性の回答者が6% (54人) 増えたので男性目線の回答を頂く事が出来た

② 前は50歳代以上、以下の2極化回答だったが今回は30歳未満から70歳以上まで幅広い年齢層での意見を頂く事が出来たのでより良い方向へ向けて対応出来る様に取り組んでいきたい

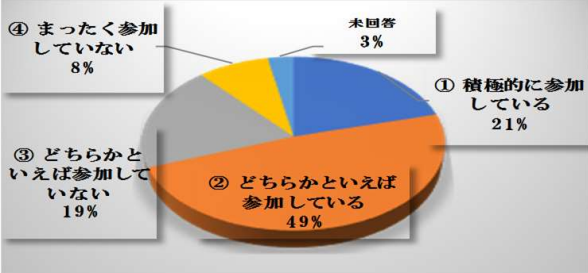
③ 今回の調査でも30年以上が40%、30年未満が58%とやはり宅地化進む中で移住者が多く占めており特に3年未満が今回は9%を占めていて宅地化進む中で移住者増を感じ取れる、これから問われるのは古くから受け継がれる伝統や文化を守って行く為にも新旧住民の交流をいかに図って行くかが今後重要になってくる

④ 二世帯 (親子) が52%で半数を占めていて核家族化による高齢者世帯が増え夫婦のみ8%増で更に一人暮らしが前回より5%増加しているため地域地区全体での見守り体制作りが必要であり、特に一人暮らしの人をいかに見守るかが急務となってくる

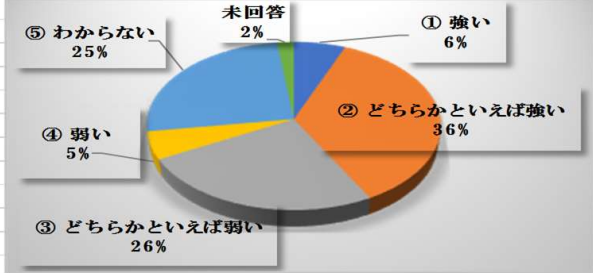
⑤ 積極的とある程度行っているを含めると79%で前回より減少している。やはり新しく移住された方がうまく溶け込めてないのが現状と思われるので会話出来る環境づくりが必要である

⑥ 積極的、ある程度を含めると90%の人達が必要と回答しているが近所づきあいは考えていないと言う人が9%いて新旧の住民交流をいかに図って行くかと、人付き合いが苦手な人が溶け込める環境づくりの検討が急務と思われる

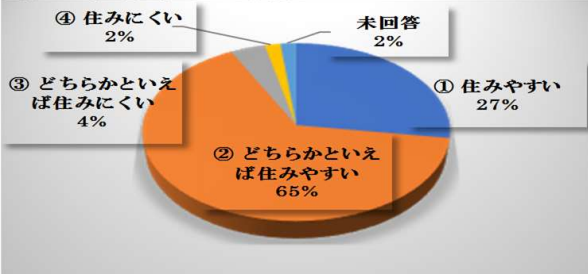
⑦ 地域行事への参加状況



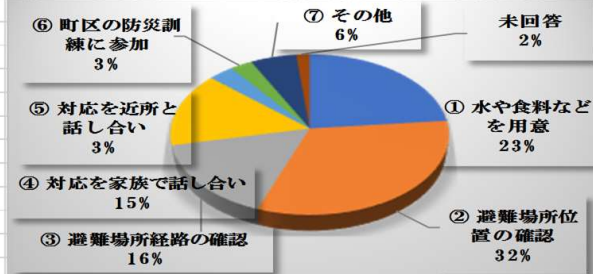
⑧ 人と人との結びつき (絆)



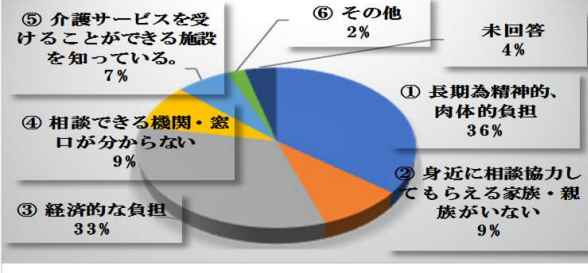
⑪ 旭地区の印象



⑫ 災害への「備え」や「対応」

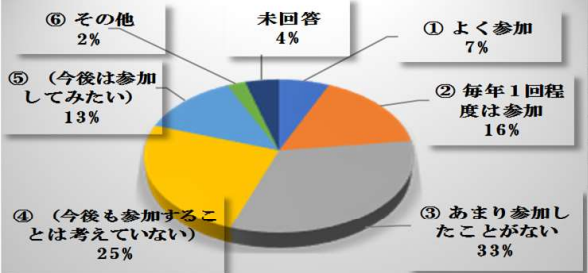


⑬ 家族の介護への心配や不安



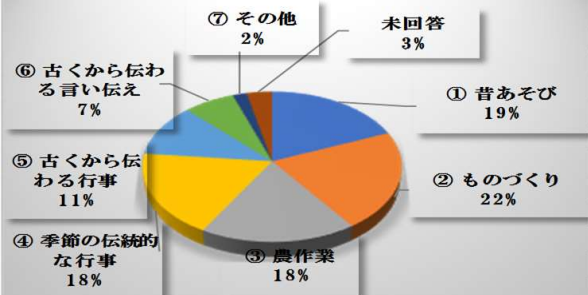
⑦ 参加しているが70%で、参加していないが27%前回より10%減少してるが、出来ない理由は仕事の都合で出来ないが大半だが自主性重視が20%と増加しており高齢化及び移住された方とのコミュニケーション不足が懸念されるので何が問題かを究明し対策する必要があります

⑭ 旭地区スポーツ協会行事への参加



⑧ 結びつき (絆) はどちらか含め強いが42%で大半を占めているが分からないが25%占めているのもっと旭地区を理解して頂く為にも近所付き合いから密にして行く事で強い絆で結ばれると思います

⑮ 子供たちへの伝承



⑪ 今回住みやすいが93%と前回より4%増えていて旭地区へ移住されて来た人達も環境、利便性 (買物・交通) 含めて好印象をもたれているのかなと思われま

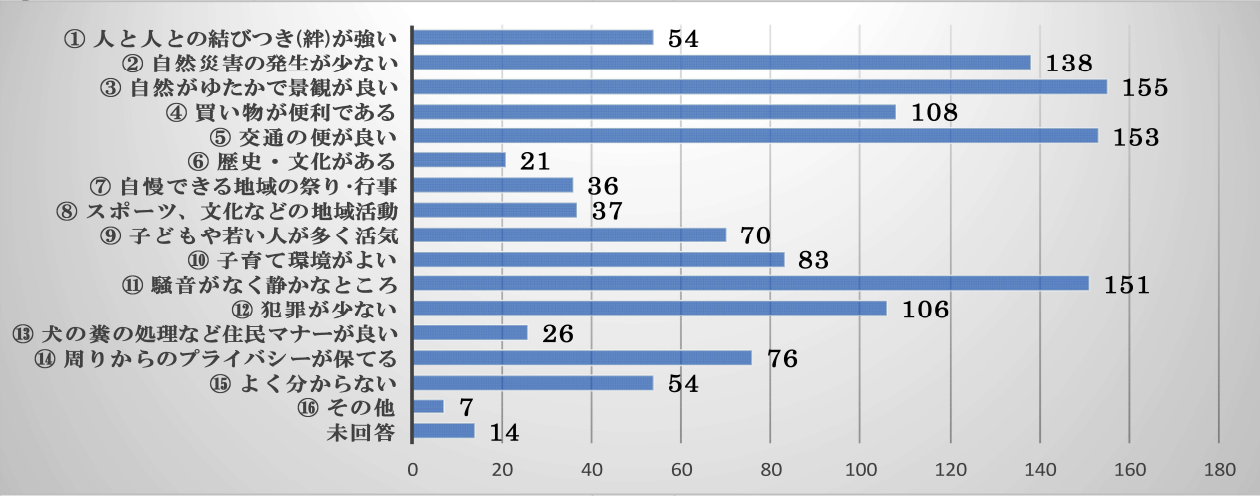
⑫ 92%の方がそれぞれに対応を考えられており近年の豪雨災害等によりさらに各人の意識高揚、関心度も高く危機意識を感じ取れます

⑬ 長期的な負担、身近に家族・親族がいない、経済的な負担が78%占めていて高齢化が進む中での不安や更には一人暮らしや、夫婦のみの世帯が増えて心配や不安に思われているので地域地区での見守り活動を密にする必要がある。ただ、今回介護サービスを受ける施設を知っているとの回答が7%あり、それぞれでの情報収集をされていることが分かり少しでも不安解消になれば良いと思います

⑭ 参加してるが23%で参加しないが58%で偏った人の参加や高齢化も進み以前は参加してた人が出来ないやら移住されてきた方への情報連絡の伝え方更には新旧の交流を深めて行く必要があると思われま

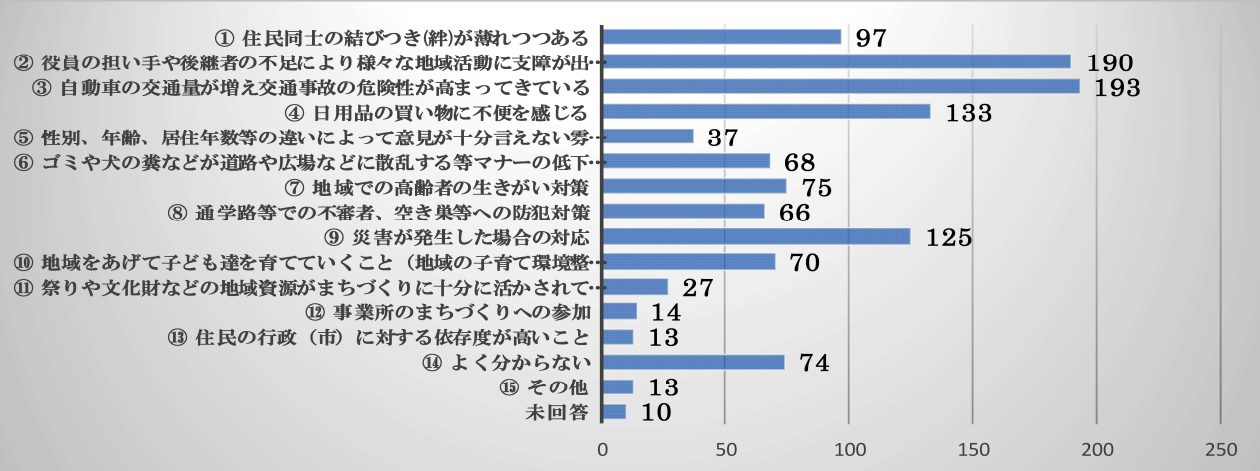
⑮ 昔遊び、ものづくり、農作業で59%占めていて今回も予想通りの回答順となりほとんどの方が自然環境をベースに次世代に引き継いでいける活動を望まれており復活等含め必要性を望まれている思いが伝わってきました

⑨ 旭地区 長所



⑨今回は1年前の豪雨災害発生により自然災害(138人)で4位となったが景観が良い(155人)1位、交通の便が良い(153人)2位、騒音が静(151人)3位と全体的に長所評価が上がっている。自然災害については対策が実施されているので評価も上がって来るとされる

⑩ 旭地区 主な問題・課題



⑩近隣含め都市化に伴い車の量が増え事故の危険性も高まっていて、交通の利便性が良くなった反面事故への危険性(193人)増えた結果の1位と思われる。役員担い手不足(190人)はコミュニティの希薄化が分かるので地域で心の通う人間関係を築いて行く事が大切であり、日用品・買い物・通院が不便(133人)は高齢化が進み買物難民が多くなって来ているので既存の交通機関の増便・新設等要検討必要と思われる

上記以外のアンケート調査項目

問19、旭地区において日頃から危険な場所、ゴミの不法投棄や犬の糞散乱場所

問23、概ね10年後旭地区はどのような地区になる事を望まれますか

問24、地域の子育て事業や子どもの居場所づくりについて問題点や課題点

上記項目については、現在(行政・まち協)に区分けしてまとめ実施中です

11月の行事

11月22日(火) まち協合同専門部会 18:30~